



カメラニュース

雨にも負けず・・・、
竹原の魅力が満載！！

竹まつり♪



5月3日・4日、町並み保存地区一帯で、第27回たけはら竹まつりが開催され、かぐや姫と子どもかぐや姫のパレード、癌封じ笹酒の振舞など様々なイベントが行われました。

3日から4日午前まではあいにくの雨天となりましたが、たくさんの人でにぎわいました。来場者からは、「雨の町並みも風情があったといいですね。」と嬉しい言葉も聞かれました。

雅楽道楽演奏とともに、かぐや姫と子どもかぐや姫のパレードが始まると、美しい姿や幻想的な音色に多くの人が魅了され、その様子をカメラに収めていました。旧笠井邸

の二階からの見物は人気で、「ベストポジションで見られてタイミング良かったわ。」と喜ぶ人や、「何年も前から写真を撮りに竹原に来ていたけれど、この笠井邸から見る町並みの景色が今回の収穫。」

「マッサン」の放送で、より竹原が身近に感じて、全国的に広まるのが嬉しい。」と話してくれる人もいました。

修景広場では、癌封じ笹酒が振る舞われ、多くの来場者が、竹筒から注がれる竹原3銘柄の日本酒を楽しんでいました。

子ども達が夢中になって作業していたのは、ものづくりのブース。ミニクローンブットとい

う竹楽器を作っていた男の子は、組み立てるのに苦労しながらも、とても楽しそうでした。

また、ダンボールでエコ異文化アートワークショップでは、来場者のみなさんが世界の民族衣装をダンボールに自由に描いていました。カラフルでとてもきれいな衣装を女の子が細かい部分まで描いているのがとても印象的でした。

竹音ライブは雨天のため、旧笠井邸での屋内ライブとなりました。旧笠井邸の落ち着いた雰囲気の中のライブはとて新鮮。竹楽器の演奏、アコースティックライブなどが行われました。

大阪から来たロックバンドおかんの曲の間に、竹原市出身の佐渡仁美さんが、即興で詩を書くパフォーマンスを行い、演奏に負けないとも力強い作品を披露し、会場を盛り上げました。

4日の午後は晴れ、高校生による頼山陽仮装道中と、中学生による頼山陽踊りが町並み一帯で行われました。少し恥ずかしそうにしている子も見られましたが、とても素敵な衣装で町並みの風情をより感じさせてくれました。



竹原の魅力あふれる「たけはら竹まつり」。今年もたくさんの方の笑顔に包まれた2日間となりました。



お話の世界へ ようこそ

4月25日、たけはら美術館文化創造ホールで、第26回文庫まつり「おはなしひろば」が開催されました。ブックレストラン「たまたまてばこ」による人形劇やペープサートなどが行われ、子どもも大人もお話の世界に引き込まれていました。



笑顔がいっぱい 仁賀小まつり

5月10日、仁賀小学校で、仁賀小まつりが開催されました。児童の和太鼓演奏でスタートし、木造校舎で行われた宝探しゲームや児童が育てたニジマスのつかみ取り・釣り堀など様々なイベントが行われました。子どもも大人も自分で捕まえたニジマスの塩焼きを食べると笑顔がこぼれていました。



交通ルールを勉強して 安全に遊ぼう

5月16日、竹原小学校で、親と子の交通安全教室が行われました。市内の子ども28人が参加し、横断歩道の渡り方や踏切の近くでのルール、トラックの死角になる場所などについて学びました。



33年ぶりに秘仏を開帳

5月24日、吉名町の長福寺観音堂で、平安時代後期の作と伝えられる県重要文化財 聖観世音菩薩坐像のご開帳と新しくなった観音堂のお披露目が行われました。仏像が一般公開されたのは33年ぶりのことで、当日は70人にも及ぶ稚児行列や露店、大正琴の演奏などで賑いました。



おめでとうございます 春の叙勲 受章者

4月29日、春の褒章・叙勲受章者が発表されました。



大川 明さん
(竹原町)

瑞宝双光章受章

元東広島市消防局消防監の大川明さんは、約40年間、消防活動を通して人々の安全を守り、人命救助に貢献してこられました。



大前 豊司さん
(塩町二丁目)

瑞宝双光章受章

元広島県警察警部の大前豊司さんは、41年間、警察官として主に刑事部門を担当し、犯罪捜査、地域の防犯と安全の確保に尽力してこられました。

竹原のかわいい・おいしいPR



5月23日、マツダスタジアムで、竹原市のPR活動を行いました。大型ビジョンでのPR、各ゲートで先着1,000人に竹原市とカープのコラボうちわの配布、ライト側のかば広場での、純米吟醸たけはら焼き、峠下牛の煮込み・魚飯、かぐやパンダグッズの販売などを実施し、たけはらかぐや姫、かぐやパンダと一緒に竹原市をPRしました。